

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	阿倍野区
学 校 名	常盤小学校
学校長名	八木 宣行

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・常盤小学校では、第6学年209名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語・算数の平均正答率は、国語：76ポイント（全国平均＋8.3ポイント、大阪市平均＋10ポイント）算数：75ポイント（〃＋11.6ポイント、〃＋13ポイント）で、国語・算数とも平均正答率は全国および大阪市平均より10ポイント程上回る結果であった。平均無回答率も、国語で1.5ポイント、算数で1.0ポイントで、全国・大阪市平均を上回る結果であった。
- 正答数分布による区分Ⅰ（国語：正答数12～14問・算数：正答数13～16問）の児童は、国語では15.9ポイント算数では24.3ポイント全国平均を上回っている。また、区分Ⅳ（国語：正答数0～7問・算数：正答数0～6問）の児童は国語では11.7ポイント算数では11.9ポイント全国平均より少ない状況となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕領域別の正答率をみると、すべての領域において全国平均・大阪市平均を上回っている。しかし、「書くこと」については他領域と比べると全国平均・大阪市平均との差は小さい。

〔算数〕領域別の正答率をみると、すべての領域において全国平均・大阪市平均を上回っている。「図形」領域の直方体の見取り図に関する問題では、全国平均・大阪市平均との差は小さい。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は90.0ポイントで、前回調査を上回り、全国平均以上の結果となった。（H31：80.1ポイント、R3：82.2ポイント、R4：85.7ポイント、R5：83.5ポイント）
授業の中で互いを認める場を設けたり、子どもたち一人ひとりが活躍できる場を設定したりするなど、これまでのそれぞれの学年・学級での子どもたちの自己有用感を高める取組を続けていく。また、否定的回答の児童については、その子たちが自分のよさに気づくことができるような取組や働きかけを、今後も学校全体で工夫しながら取り組んでいく。

今後の取組(アクションプラン)

○ 主体的・対話的で深い学びの推進

児童自らが課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり、友だちと学び合う中で最適解を合意形成していく学習を通じて、知識を活用して課題に対応したり生活に生かしたりする学びを展開していく。そのために、各教科や課題に応じた授業展開ができるように授業の充実を図る。また、タブレット端末を効果的に活用することで、個に応じた学びに向けて取り組みを進める。

○ 読書習慣の育成

学校図書館の全日開館、読み聞かせ活動、読書週間の取り組み等を通じて、読書に親しむ姿勢を育てる。

○ 学習内容を定着させるための取り組み

校内で意見交流をしたり研修をしたりすることを通して、学習内容を定着させるための方策（習熟に差がある児童への支援・授業で使用するドリルやプリントの工夫・宿題の量や出し方など）の工夫を、引き続き行っていく。特に、すべて教科の授業の中で「書くこと」を積極的に取り入れるとともに、算数科の図形領域のさらなる授業改善に取り組んでいく。

【 全体の概要 】

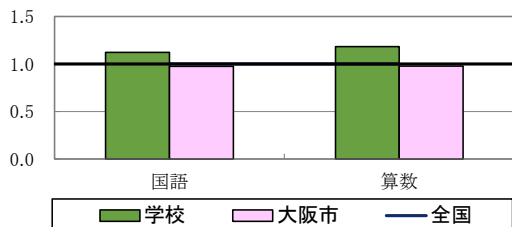
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	76	75
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

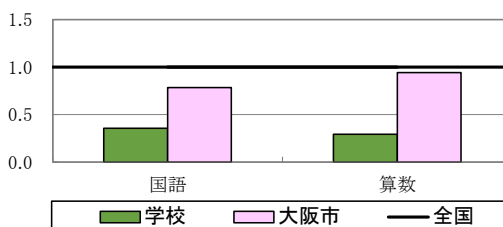
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.5	1.0
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



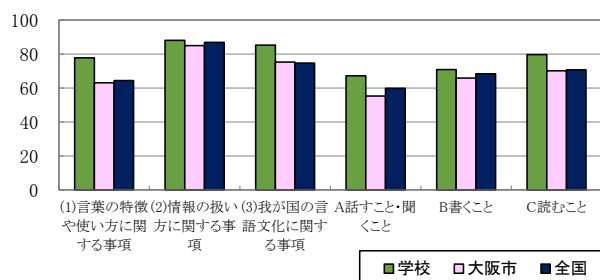
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	77.8	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	88.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	85.2	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	67.1	55.3	59.8
B 書くこと	2	70.8	65.9	68.4
C 読むこと	3	79.7	70.1	70.7

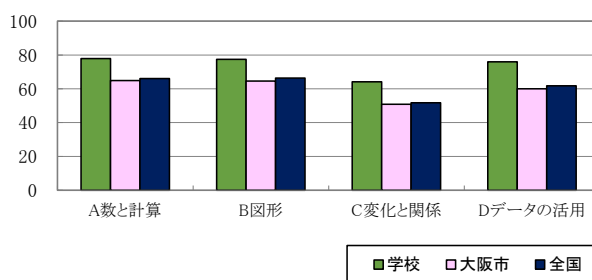
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	77.9	64.8	66.0
B 図形	4	77.4	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	64.1	50.8	51.7
D データの活用	4	76.0	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

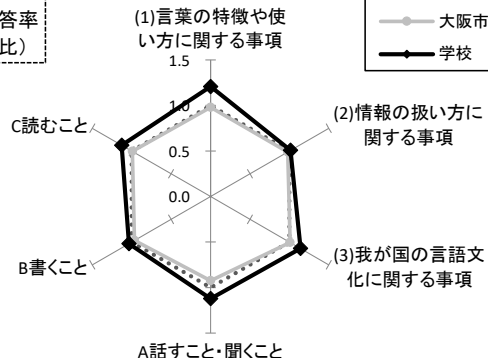


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



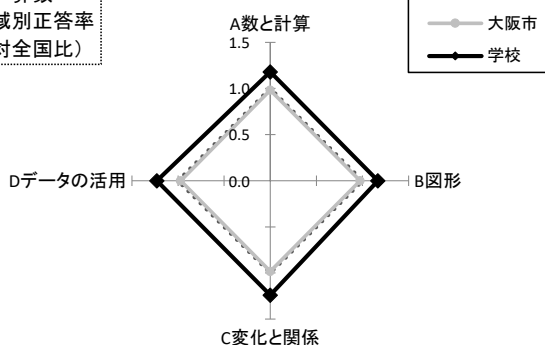
国語

内容別正答率
(対全国比)



算数

領域別正答率
(対全国比)



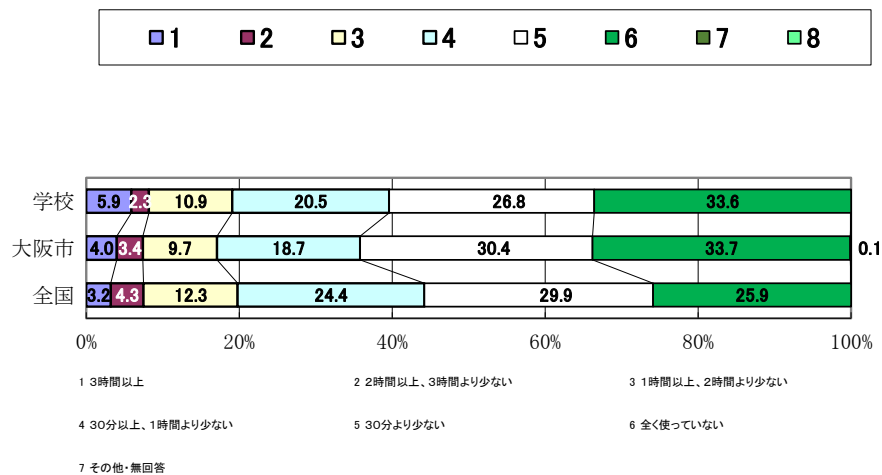
児童質問より

質問番号

質問事項

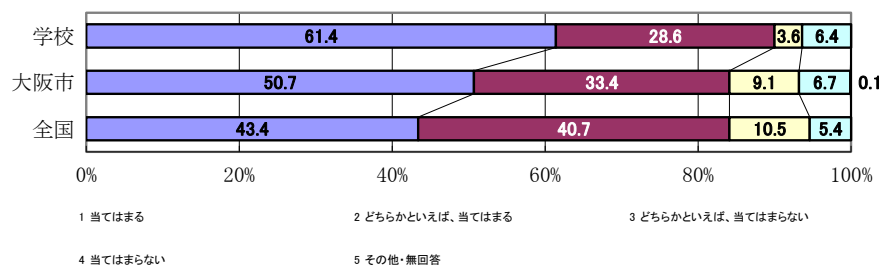
4

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



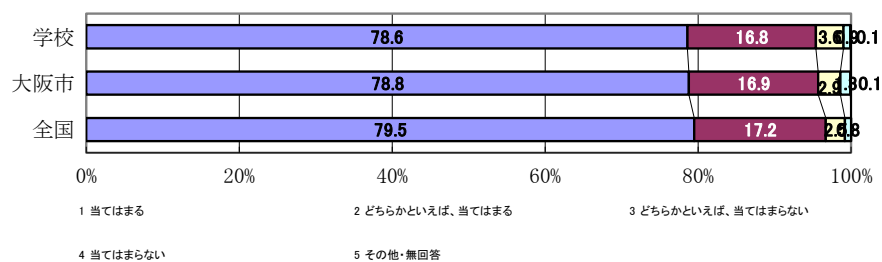
9

自分には、よいところがあると思いますか



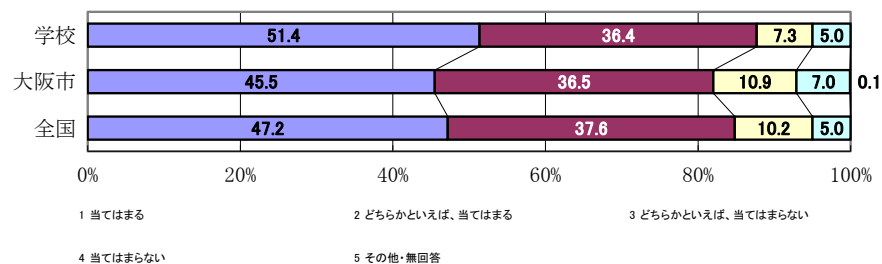
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



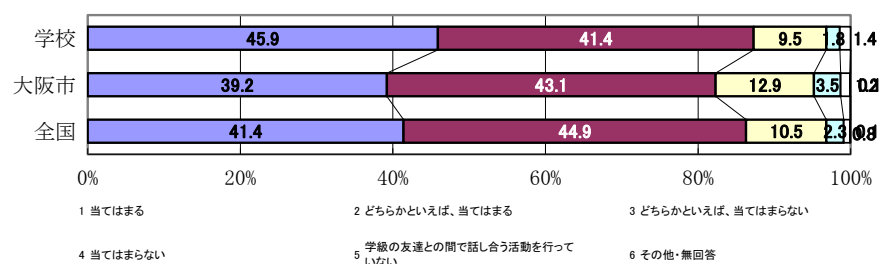
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



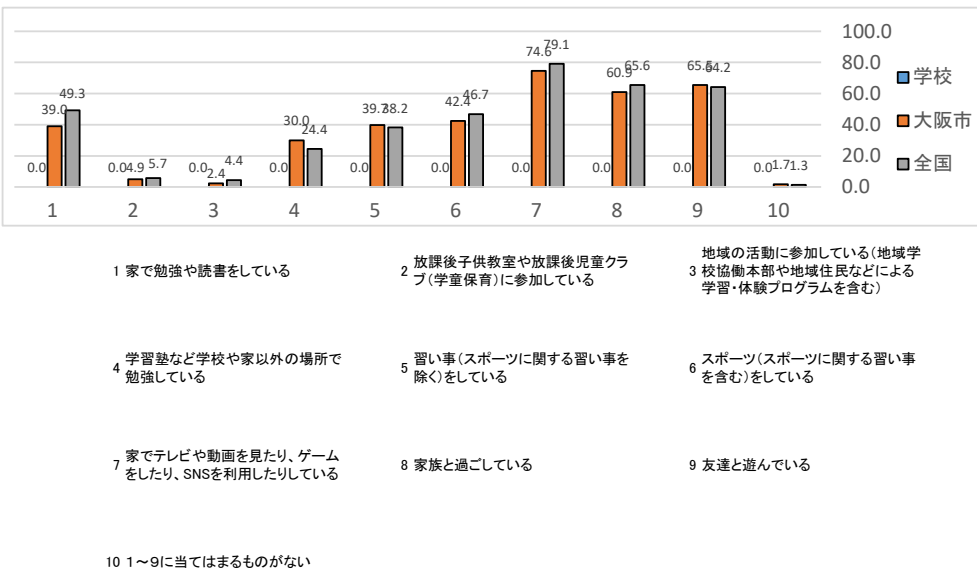
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

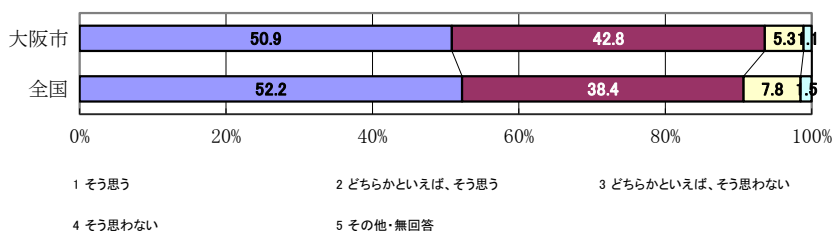
質問番号

質問事項

8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

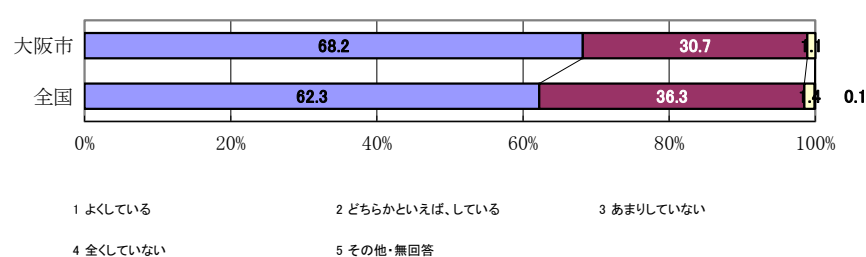
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

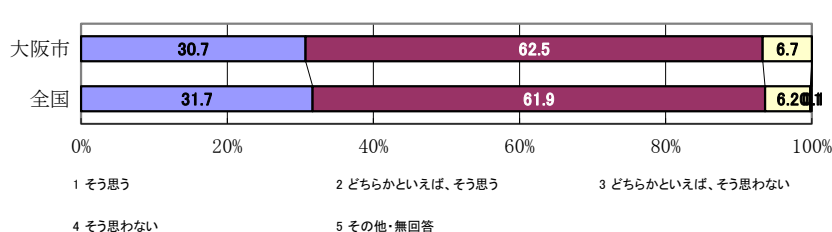
学校 「どちらかといえば、している」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

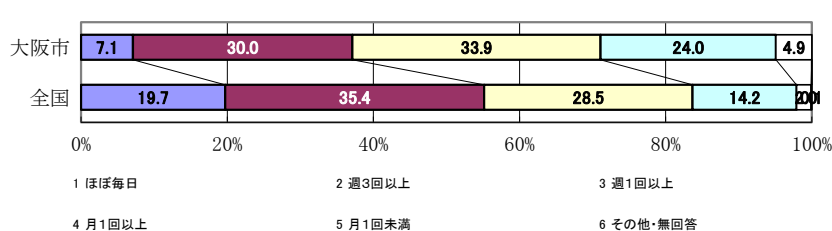
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



58

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週3回以上」を選択



64

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

